

親子で両手を使おう

2026. 9月 平島淳子

「鉛筆を使いたい」「字を書きたい」「お箸を使いたい」「包丁を使いたい」

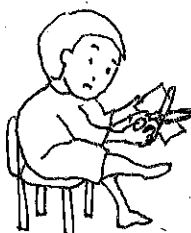
「はさみを上手に使いたい」「刺繍をしたい」「パラウェーブをしたい」他にも・・・

その「情熱」が叶えられるには、

「物の準備」と「**手**の準備」が
必須です。それも「**両手**」です。



やりたいことはたくさんあるのに、何度やってもうまくいかずに困りながら練習している姿を観ます。



お家の中でも、お子さんに「物を渡すとき」

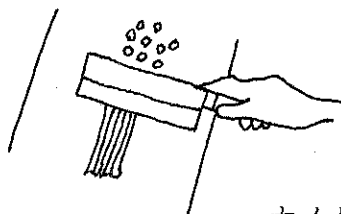
「物をしまうとき」「物を取り出すとき」

「物を並べる時」など、両手で行ってあげて

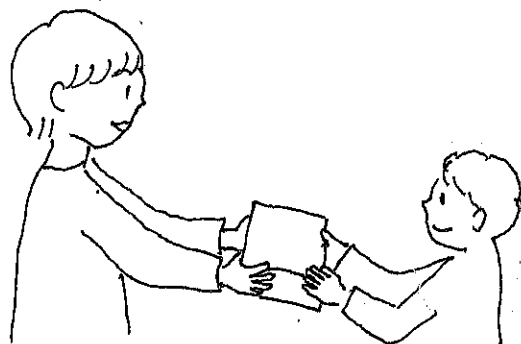
みてください。

「道具を上手に使う」には「**両手の協応**」

○2歳半ごろからは、段々と「左右の手が別々の動きをしながら、同時に協力して」色々な道具を自分で使えるようになっていきます。



大人は、利き手がきまっています、子どもから見ると片手でスイスイと作業を行っているように見えます。



両手が同時に同じ動きをしようとするすると自然とからだの中心が安定するように重心を整えます。自然と美しい姿勢になるでしょう。